

『すぐ御實行で御坐いましたのですか、よくねえ』

『どうも之れ迄の悪い癖が深くしみて居りました、始めはなかく早くやすみませんで御坐いました、家中總が、りで氣をつけましたので、此頃では奥様、八時が鳴りますと自分からやすむので御坐いますよ』

『お感心にねえ』

『之迄もちよい、お話や雑誌などでは伺つて居りましたが、規則正しく睡眠することがほんと

## 机邊だより

### 幼稚園の教育

(スタンレーホール氏)

一 理想的幼稚園

「幼稚園」何といふ適しい名稱でありませう。此

うにこんな大事なこと、は存じませんでした』  
『やあ、樫村さんの奥さん、よくいらした。まあ、其のまゝ。丁度今武男さん達と砂場の大掃除をして居た處です』

斯ういつた調子で、少しもあらたまらない、極く親しい、心をきかない談話の間に幼稚園からの注意も與へれば、家庭からの注文も聞く、殊に保育上の参考になるべき互の打合はせを充分にする。先生が始終言つて居られます。「此の應接室がなくしては吾々の保育は半分以上出来ない」と。

### 倉橋惣三

の名の中には様々な暗示と、大なる魅力とが含まれてゐるのであります。フレールは此の名稱の撰擇に迷ひ迷つて、遂に「幼稚園」といふ歡喜に満ちた叫びを發しました。何故なれば、生涯の努

力を教育に捧げ來つた彼れ自身の精神を、象徴するに最も適當な名稱であつたからです。幼稚園とは自然の生んだ兒童といふ美はしい花の咲いてゐる園をいふのです。また、吾々人間の造つた場面ではなく、又兒童に對する理想や、更らに大なる要求が、自然に生んだ樂園の一とも云へ得るのであります、草木は人類よりも、もつと古ひ歴史を持ち、生物進化の歴史を閲みしてゐるのです。故に何よりも前に、教育的な資格を持つて居ます。民俗史や、神話や詩歌などの中に、常に理想化せられてゐるのは、即ちその爲めでありませう。總の花は、それ／＼何等かの象徴的意味をもち、草は遊星の記號とされ、古代に於いて人類祖先の寓所であつた樹木は、今や神の御住とされてゐます。花園は自然界に於ける最も有用なものであれば、又最も裝飾的なものであります。小屋が即ち家庭であつた時代から、既に現代の植物學者が教へて

ゐるやうな利益を、動物や人類に寄與してゐるのであります。

かくて、「兒童園」といふ言葉は、分析すべからざる幽遠な思想と、感情と、刺戟とによつて隈どられた、深い原始的な靈界をなしてゐるのです。幼稚園は子供に對する新なる世界であります。一度は人工的であつた幼稚園は、今漸くにして自然のまゝな原始的生命を復活して來たのであります。單に兒童の背景として價値あるばかりではなく、最も大切な中心の場面として、教育上の勢力を占めて來たのです。近來益々盛んになつて來た學校園の運動が全く完成された秋は、即ち兒童の心と自然の心とが統一されなければならぬといふ理想が實現されたときでありませう。吾々は、も早や牧歌を歌ふ詩人たる要はありません。技術に巧みな園藝家たるの要はありません。老練なる農藝家たるの要はありません。温室も、芝生も、運

動物も、木蔭も、小川も、池も皆その中に備つて  
ゐます。又、肥沃といふことや、蒔種季や、收穫  
季や、鳥獸の生活や、その他のあらゆる自然現象  
は立ち所に兒童が實物から其の知識を興へられま  
す。言語や繪畫の上から教へらるゝものではあり  
ません。自然の教育とは、即ちこれでありませぬ。

これまでの教育は、兒童の全盛期を室内に閉し  
て置いた爲めに、さういふ學科の殆んど總は、兒  
童から奪はれて、僅に教科書や新聞によつて、生  
命のない形骸だけを學んでゐるのです。吾々はさ  
ういふ教育の爲めに、高價なる犠牲を拂つてゐる  
のではないでせうか。かうして兒童は、凋むだ肉  
體に、凋むだ精神を植えられて、自然より興へら  
れた唯一の眞理と、眞正な家庭とは用捨なく葬ら  
れてゐるのです。新なる幼稚園の機運は此の舊套  
を破つて、眞美なる大自然の心と合致するもので  
なければなりません。

眞正なる兒童の教育は、獨りさういふ境遇にあ  
る子供によつてのみ得らるものであります。兒童  
は、さういふ境遇に居てこそ、始めて全き生活が  
遂げられるのです。さうしてこそ、抑制といふこ  
とのない、眞に自由な子供が造られるのです。室  
内にばかり閉して置やうな教育は、いぢけた、神  
經質な子供を造る外に、何の貢獻もありません。  
多くの金が幼稚園設備の爲めに投せられてゐませ  
う。然しながら、どういふ完全な施設も、子供を  
自然の手に返して、雄大な山川の野に遊ばすより  
高價なもの、世にあり得ないのです。  
フレーベルは、常にこの理想に生き、この精神  
に刺戟されてゐた大なる教育家であります。

## 二 女子教育場としての價值

次に子供の問題から教師の問題に移つて考へる  
と、他の重大なる問題に接觸します。我が西洋文  
明諸國に於いては、既に母となるべき年齢に達し

ながら、種々の事情や若しくは、其の人達の好みによつて、未婚である若き婦人の數が非常に多くなつて居ります。エーレンフェルスが支那及び日本は將來に於いて泰西國民に打ち勝つてあらうといふ説は獨逸に於いて、非常に注意を惹いたことであります。蓋しエーレンフェルスの考へでは、西洋婦人の中に終世母とならざる者、其の最も適當なる時期に於いて母とならざる者の次第に増加することは、支那及び日本の婦人の状態に比して憂ふべき状態であるといふのです、處でこの根本問題の解決はさて置いて、これ等の未婚女子の職業問題は最も當面の考慮を要すべき問題であります。我が亞米利加の多數の女子が現に従事してゐる職業を見るに、店員にしても、事務員にしても其の他若き女子に適當と稱せられる職業が、収入の點からは兎も角、將來母たるべきの準備といふ點に於いては、極めて無意味なるもの多きを感じ

ざるを得ないのであります。尙且つ婦人職業の多くが、結婚に向ふべき女子の順調なる理想を破壊するの憂ある如きに至つては、最も悲惨のこと、云はざるを得ないのであります。私はこれ等の觀察から幼稚園保姆を以つて若き女子に最も適當なる職業であると思ふのであります。凡そ幼き子供等と接する程、婦人を快活に新鮮に、若々しく、心も體も健全ならしむるものはありますまいか。社會がレデースを造り、學校が女學者を造るといふ論法から云へば、幼稚園は、おんな——やがて母となるべき婦人を造る場所と云へるのであります。

但しこれは、現在の幼稚園に就いて必ずしも直ちに當て筈することのみではありません。現在の幼稚園の中には、餘りに形式的に、知識的に、殊に餘りに學究的であつて、若き婦人の爲めに、如上の修養の場所たるに適しないものが、屢々ありま

す。理窟つばい、學問くさい、自己批判の徒らに  
鋭すぎる程、處女らしい若き婦人の心を害する  
ものはありません。茲に於いて、幼稚園が幼兒の  
爲めの傍らに、保母たるこれ等の若き婦人の爲め  
に適當なる考慮を費すべきことは、甚だ必要事項  
と云はなければならぬのであります。

第一は、子供の實際上の取扱の練習でありま  
す。恩物を與へたり、遊戯や唱歌を教へたり、談  
話を聞かせたり、かういふ類の正面の保育事項の  
外に、髮の世話、着物の世話、食物の世話のやう  
なことにて於いて、お母さんらしい練習がされなけ  
ればなりません。當にこれらのことに熟達するば  
かりでなく、子供の世話の細々したことに對する  
興味が、養はれなければなりません。

第二は、かういふ室内の事の外に、子供と一緒  
に戸外の自然を楽しみ得る練習もなければならま  
せん。自ら自然に對する各方面の興味を有しない

で、子供を自然に導くことは出来ないのでありま  
す。即ち理想的保母の一の資格は、自然を知り、  
感じ、愛して、自然との間に心と心の關係を有し  
て、其の感化を子供に傳へ得るものでなければな  
りません。

### 三 フレーベルの教育的事業

フレーベルは偉大なる教育者であります。さて  
現代の教育が最も重く彼れに負ふ處は何んであり  
ませう。私はこれを次のやうに分類することから出  
來やうと思ひます。

一 兒童は生物進化の歴史を再現するものであ  
るといふことを、最も早く教へたるは、即ちフレ  
ーベルであります。胎生學すらもこれを指摘せな  
かつた間に、既に彼れは約説の原理を發見したの  
であります。而してこの理論は現代の發生心理學  
の主眼となつてゐるものであります。

二、感情と本能とは、智力と意思の苞芽である

といふことを教へたのも彼れであります。現代の心理學者や、精神病學者はこの理論に基いて、種々なる發見を遂ぐるに至つたのであります。

三、フレーベルは、また子供の自發的活動及び自發性といふことを教へ、更らに、遊戯は兒童の素性的興味と才能との發現であるといふことを教へました、さうして、遊戯諸本能といふものは、學校に於ける最も大なる中心活動ではあるまいかといふことを考へ、且つ其の理想の實現を容易ならしめたのです。

四、フレーベルは熱心なる一元論者でもあれば、又、代表的な汎神論者でもあつたのです。而して彼れは、自然崇拜の極度たる汎神論を、初めて教育上に及ぼした人であります。

五、彼れは思想の根本に於いて、人類の萬能といふことを信じて居た人であります。故に總に於いて干渉と云ふことを忌み、又、教育上の施設

に就いてもそれを根底から改造するといふやうな極端を避け、徐々として進化するべきものでありと考へてゐたのであります。

六、彼れは又、兒童の興へられたる個々の生活を尊重すべきものであるといふことを教へました。兒童の意思が未だ發育不完全であつて、動物のそれと等しき時代にあつては、尙其の意思を尊重すべきものである。成人の考へや、成人の立場を直ちに子供に強ゆるといふやうなことがあつてはならない。又、青年より兒童を輕んじ、兒童より哺乳兒を輕んずるやうなことがあつてはならぬ。其の生活は、調和と、愛と、自由とに満ちたものでなければならぬといふ事を教へたのです。七、吾々は總て兒童の爲めに生き、兒童と共に生きなければならぬといふことを教へました、實際に吾々が、それ以外自己の全生活を捧げ、身を賭するに足る事業があるでせうか、吾々成人は

既に其の半生を過した人であります。そして國家も、家庭も、教會も、學校も、又は文明といふやうなことも、皆、兒童及び青年の發達に資する爲めに存在すべきものであります。

八、彼れは又、兒童の直觀といふことを重んじてゐた人であります。彼れは曰く、兒童は地にある種子であつて、未だ太陽の光りも見なければ、直接に雨の恩恵も感じ得ないものであります。然し、溫度や、濕氣や、熱度の微細な變化に感應せぬものではないと云ふは、兒童の無意識は神に從へばなり。」といふ彼れの格言は、決してウオーズウオーズの下に落ちるものではないことを示してゐます。又彼れは、人間の自意識に上らない靈的活動といふものは、根深くも我が全生涯を支配してゐるといふことを、臍氣ながらも豫知して居た人であります。

九、最後に、健康といふことに對する彼れの信

念を申上げた度いと思ひます。前に申したやうに、兒童は恰も植物であります。故に、どうしても戸外の生活が必要であります。彼れは、かういふ信念によつて、總の基礎たるべき兒童の健康といふことを實現した人であります。彼れは實に新なる衛生學上に於ける明星であります。スタンレーホール氏は、フレーベルの教育的事業を右の如く分類し、進んで、シエリング、ライター、カント等の哲學論に對比して、彼れの兒童觀、自然觀を説明してゐるです。(つらら)

●兒童研究會總會 日本兒童研究會にては本月六、七兩日總會を開き第一日は午後零時半より法科大學卅二番講堂にて、第二日は午前八時半より東京高等師範學校にて、夫々有益なる多數の講演があります。殊に第一日は宿題たる兒童保護問題に就て、ドクトル富士川游氏、醫學博士石川貞吉氏、法學博士小河滋次郎氏の有益なる報告があります。何人も聽講隨意故本會員諸君も多數お出になることをお勧めします。尙詳しきことは本月一日發行の「兒童研究」誌上に廣告してあります。

●お断り 先月は編輯者の手違ふにより本號發行期日非常に遅れ諸君に對して誠に申譯がありません。